



新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして保護者、ご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。皆さんが今日この日を迎えることができたのは、日々の努力の成果であり、その努力に心から敬意を表します。ご家族やご親戚、皆さんの周りの方々がたくさんの笑顔をくださっていることでしょう。

歯学部新入生の皆さんは歯科医師になるという決意を持って入学されたわけですから、未来の歯科医療を担うあるいは新たに開拓することを目標に、迷わず真っ直ぐに進んでください。歯科医師は人の健康維持・回復、生活の質の向上に直接関与できる素晴らしい職業です。この大切な務めを果たすためには、これから幾度となく困難に遭遇すると思います。その時には、歯科医師になると心に決めた時、あるいは本学歯学部に入學した日を思い出し、その時のモチベーションをもって乗り越えていってください。皆さんが夢を持ち、情熱をもって進んでいく姿を私たちは心から応援します。

歯学部での学びは、長く、厳しいものです。各学年での定期試験に加えて、4年時の臨床実習前の共用試験、卒業時の歯科医師国家試験に合格せねばなりません。多くの専門的な知識や技術を学ぶため、覚えなければならないことが非常に多く、時にはその量に不安を感じることもあるでしょう。その不安に打ち勝とうとした時こそが、皆さんが成長する貴重なときなのです。毎日の講義や実習には実直に出席し、着実に知識を積み重ねていってください。そして疑問点や理解困難な内容があるときは、友人同士で教科書等で調べたり、遠慮せずに教員に質問することを実践してください。本学歯学部は学生と教員間の壁が無くとても質問しやすい環境になっていますので、積極的に話を聞きに行ってください。それによってその科目への興味が深まり、効率よい勉強が可能となります。

歯学は、他の医学分野と同様に、ただの知識や技術の習得にとどまらず、人間性を深める学問でもあります。本学の建学の精神は「大覚円成 報恩行持」であり、現代語にすると「感謝を忘れず 真人となる」となります。皆さんはこれから鶴見大学歯学部という新しい社会で、新しい友に囲まれて成長していきます。人は一人では成長できません。歯学部という社会の一員としてお互いにリスペクトそして感謝しあうことで、思いやりの心を育み人間性を深めることができます。歯科医師は単に痛みを取り除いたり、見た目を改善したりするのではなく、個々の患者さんに寄り添う姿勢を必要とします。その基盤を学生時代に築いてください。医療人には知識や技術力と共に、先ず「感謝する心」が不可欠であることを、皆さんにはぜひ覚えていてほしいと思います。

大学院に入學する皆さん、大学卒業後により学問を深く追求しよう、あるいは疑問を解明しようという姿勢に心から敬意を表します。先人たちが行ってきた莫大な研究の中から興味あるテーマや領域を見つけ出し、それに関わる不明な点を解明、論文を作成する…大変な労力を要します。それに果敢に挑む皆さんを心より応援します。4年間という限られた期間で目標達成するために、研究について指導教員と共に熟考を重ねてください。考えや意見の食い違いが生じることもありますが、その先には必ず光があります。その光を見つけた時の喜びを一つでも多く感じていただきたいと思います。研究の推進力は好奇心です。今、持っている好奇心を無くさないでください。

これから始まる新生活をより充実したものにすることも、くれぐれも健康に留意し、規則正しいキャンパスライフを送ってください。そして皆さんが、最終学年修了時に今よりももっと大きな笑顔に包まれることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



令和8年4月4日

歯学研究科長・歯学部長 山本 雄嗣

